

令和6年9月 上市町教育委員会 定例会 議事録

日 時 令和6年9月30日（月）午前8時58分～午前10時15分

場 所 上市町役場2階 第1会議室

1 開会

2 教育長の報告

今月14日に開催の上市中学校の体育大会において、7月に発生した陸上競技部活動中の事故の当事者である生徒も参加をしていた。

また、24日には上市町農業者協議会より新米コシヒカリの贈呈を受け、各校の給食に新米を出させていただいた。

中学校2年生では「14歳の挑戦」を実施しているが、更に町内の事業所への理解を深めていくためにも、上市高校で開催している「職業を知る会」を2月に中学校でも開催することを予定している。

3 教育委員会定例会 会議記録の報告

4 議事

(1) 義務教育学校教育課程の区切りとしての学年区分について

(委員)

子どもの発達段階に合わせた3つの期間、基礎期、探索期、専門化期、それぞれ3年間に分け、季節に応じたカリキュラムや生体リズムを考慮した時間割などを進めていけないものか提案したい。

(委員)

9年間をカリキュラム的に考えると、4-3-2制が良いのではないかと思う。体の発達を考えると1年から6年という区切りはあり得ない。4-3-2制であれば、異学年交流も、教員間の情報共有もしやすく、断続的な指導が可能と考える。

(委員)

4-3-2制が良いのではないかと思う。ギャングエイジと呼ばれる3、4年生において、4年生にリーダーとして自覚する機会を持たせることができ、5年生からは教科担任制の導入もできる。教員が少しでもやりやすいようにできればと思う。

(委員)

現場の先生方が肌で感じるところが一番良いのではないかと思う。上市の教育方針にあっているのはどの区切りなのか。親として高校受験など、中学生段階における不安があることも分かるが、こういう学校を作っていきたいという教育の信念が大切と考える。

(教育長)

(2) 義務教育学校教育課程の区切りとしての学年区分について

- 事務局としては、4－3－2制が良いのではと考えているが、現在進めている義務教育学校基本計画の策定においても、校舎配置の点などから必要となるため、早期に決定し、進めていきたいと考えている。校長会にも意見を聴いているが、委員のみなさまからもご意見をいただきたい。

(委員)

校舎の配置にも大事ではあるが、上市の教育目標にあったものとして、義務教育学校においてどんな教育を目指すのか考え、決めていかなければならない。

5 報告・その他

(1) 令和6年9月町議会の対応について

(委員)

部活動の地域移行に関連して、生徒の放課後の過ごし方について、中学校でも実態を把握するなど、きちんと考えていかなければならない。

(2) 令和6年度富山県市町村教育委員会連合会第2回研修会について

(3) 義務教育学校基本計画策定について

6 閉会